

令和7年 第3回定例会

一 般 質 問

[会派代表質問]

印西市議会

令和7年第3回定例会一般質問（会派代表質問）一覧

順番	会派名	議員番号	議員名	質問方式
1	公明党	20番	藤江研一	登壇一問一答方式
2	至誠	1番	大崎亜希	登壇一問一答方式
3	創進	10番	小川利彦	一問一答方式
4	新政	5番	津田憲吾	登壇一問一答方式
5	T O B E	9番	稲葉健	登壇一問一答方式

公 明 党

質問者 20番 藤 江 研 一

1 物価高を乗り越える経済と社会保障の構築について

- (1) 減税と給付による物価高の克服
- (2) 現役世代の所得増
- (3) 社会保障の充実
- (4) 最低賃金引上げ
- (5) 電気・ガス代軽減と燃料油支援
- (6) ガソリンの暫定税率廃止
- (7) コメ価格の高騰対策
- (8) シェアリングエコノミー

2 防災・減災・国土強靱化について

- (1) 第1次国土強靱化実施中期計画
- (2) 上下水道の老朽化対策
- (3) 次世代コンクリートの活用
- (4) マイナ救急への対応
- (5) 被災者生活再建支援システムへの参加

3 子育て支援・教育の充実について

- (1) 多子世帯の大学無償化
- (2) こども家庭ソーシャルワーカー
- (3) こどもの不慮の事故防止
- (4) 小中学生の泳力低下
- (5) ネット出生届

4 福祉・年金の充実について

- (1) 年金制度改革法の成立
- (2) 劇場・競技場のバリアフリー義務化
- (3) 手話施策推進法の実現
- (4) 支え合う共生社会の実現

5 市民の移動の利便性拡大等について

- (1) タクシー利用助成事業の対象地域拡大
- (2) 京成バス千葉イーストへのふれあいバスの適用拡大
- (3) 船穂小登校時間に合わせたふれあいバスの運行ルート・ダイヤ見直し

(4) 移動期日前投票所の開設

至 誠

質問者 1 番 大 崎 亜 希

1 10年先を見据えた財政のあり方について

- (1) 市の基金の現状について伺います。
- (2) 今後の支出の抑制について市の考えを伺います。
- (3) 税収を安定させるための新しい収入源について、現時点での構想を伺います。
- (4) 大規模事業の財源確保策について伺います。

2 市長ロードマップから問う課題と展望

- (1) フリースクールの支援拡充と補助制度の強化
 - ①令和10年までに想定している、フリースクール及び校内教育支援センターの施設数の見通しについて伺います。
 - ②予算規模について今後の見通しを伺います。
 - ③利用料の補助制度を新たに実施する考えはあるか伺います。
- (2) 全天候型遊び場（インクルーシブ公園）整備の進捗について
 - ①現在の進捗状況について伺います。
 - ②今後の整備計画について伺います。
 - ③整備後の維持管理や、財源の確保は、どのように見込んでいるのか伺います。
- (3) 印西牧の原駅圏複合施設整備の整備手法と運営の見通しについて
 - ①整備手法として、公民連携を選択した理由について伺います。
 - ②市民への説明や合意形成はどのように進めていくのか伺います。
 - ③整備後の収益性や運営形態の見通しについて伺います。
- (4) 地域に寄り添った買い物支援について
 - ①地域に寄り添った買い物支援の現状について伺います。
 - ②高齢者や交通弱者への利用実態と反応について伺います。
 - ③今後、巡回エリアや車両の増便など、移動スーパーの運行拡大を市としてどのように検討しているか伺います。
 - ④自治体としての補助や地元事業者との連携体制については、どのように整備していく予定か伺います。

- (5) 地元企業参入促進に向けた入札制度へ
 - ①現在の進捗状況について伺います。
 - ②制度実施に向けて、市内事業者への周知はどのように進めていくのか伺います。

- 3 不登校支援と選択肢拡大に向けた学びの多様化学校
 - (1)本市における、不登校児童生徒数、校内教育支援センターとフリースクールのそれぞれの利用者数について伺います。
 - (2)本市が不登校児童生徒の支援を進める上で最も重視していることは何か、方針を伺います。
 - (3)学びの多様化学校には様々なタイプがありますが、現時点での市の考えを伺います。

創 進

質問者 10番 小川利彦

- 1 市有地の今後について
 - 市内には、有効的に活用されていない市有地が点在し、その土地には建物も存在しておりますことから、今後の市の対応について伺います。
 - (1)印旛中央地区内の市有地について
 - (2)師戸地区の農地について
 - (3)印旛公民館及び瀬戸幼稚園の建物について
 - (4)未利用と見受けられる土地及び建物について

- 2 市道の今後について
 - 印西市道の今後について伺います。
 - (1)市道竜腹寺線について
 - (2)千葉県から譲渡される道路について
 - (3)通行に支障のある市道の雑草及び雑木の対応について

- 3 有害鳥獣の対応について
 - 猟友会や地域の方々と連携したイノシシ捕獲を行っているが、近年の生息区域拡大による被害が数多く発生しており、行政としての今後の対応について伺います。

- (1) イノシシ生息区域拡大についての認識について
- (2) 印西市としての対応について

4 外国にルーツをもつ児童生徒の教育環境について

市内には多くの外国人世帯が居住し、市内の小中学校に通学しておりますことから、印西市の教育環境について伺います。

- (1) 学習支援員の状況について
- (2) 当該児童生徒の保護者との関係について
- (3) 今後の教育について

5 市制施行30周年について

印西市は令和8年4月に市制施行30周年を迎えます。

市制施行30周年にあたり、市政運営の考え方、また記念事業の準備状況について伺います。

- (1) これまでの30年間の市政の総括をどのように行うのかについて
- (2) これからの市政運営の考え方について
- (3) 記念事業について

6 自転車ナビラインの検証について

現在、自転車の車道走行を促す自転車ナビラインが、イオンモール南側・西側の市道と、木下駅南口の木下駅前にはぎわい広場の東側市道の2か所に設置されています。歩道上の歩行者の安全を確保するために整備されたものと認識していますが、市民への意識の定着は進んでいるのでしょうか。道路交通法の改正により、今年度から自転車運転の危険行為への目が厳しくなりました。

そこで、以下の質問を伺います。

- (1) 自転車のナビラインの効果について、どのような認識か伺う。
- (2) 更に市民への啓発を進めるために何をするのかについて

7 市内の排水路について

市内には、県管理及び市管理などの様々な排水路が存在しており、管理区分が不明な排水路があるとの声も聞いています。

以前から質問している排水路は、行政対応していた経緯がありますが、合併と同時に行政管理がなされなくなり、大雨による水位上昇で付近の方々の身体・生命及び財産が危険な状態になるかも知れない状況です。そこで、管理区分の明確化及び管理について伺います。

- (1) 市内の排水路の市管理状況について
- (2) 小林中学校付近からの雨水排水及び道路排水について
- (3) 飛里橋落とし及び松虫川の管理の状況について
- (4) 関係機関との協議状況について

新 政

質問者 5番 津 田 憲 吾

1 オンデマンド交通の導入について

交通政策は、市民生活の安定向上や市民経済の健全な発展を図る上で、交通に関する政策を計画的に推進していくことが重要である。当市においては、近年の人口増加や、一部地域における高齢化が進行している。特に市内の交通不便地域への対応は大きな課題である。「印西市市民満足度・重要度調査」においては、公共交通の充実に関して満足度が特に低く、かつ重要度が特に高いという結果となっている。

- (1) 市内公共交通のあり方について
- (2) 市内交通不便地域への対応について
- (3) 今後について

2 参議院選挙 2025 について

2025年7月3日公示、7月20日投開票の参議院選挙について、投票の状況と当市の取り組みについて伺う。

- (1) 投票率について
- (2) 期日前投票所について

3 公共工事の情報公開について

市内においては、様々な公共工事が行われている。その多くは、入札によるものであるが、公共工事の情報がどのように市民に公開されているのか伺う。

- (1) 公共工事の情報公開の方法について
- (2) 周辺住民への対応について

4 学校給食について

成長期にある児童・生徒の心身の健全な発達のために、栄養バランスの取れた豊かな食事を給食として提供していくことは重要である。こうした学校給食に地場の産物を取り入れたりすることは、子ども達の食育の充実にも繋がると考える。また地場の産物を取り入れることで、地域産業の振興を図ることができる。

- (1) 学校給食における市内農産物の利用状況について
- (2) 地産地消の促進について
- (3) 物価高騰における給食の食バランスについて

5 外国人居住者への市民サービスについて

年々、外国人居住者も増加している傾向にある。すべての市民が平等に行政サービスを受けられる体制を構築することが求められる。

- (1) 外国人居住者の推移について

- (2) 外国人労働者の支援について
- (3) 外国人住民と地域住民のトラブル発生の現状と対応について
- (4) 外国人児童生徒と教育現場における多文化共生の現状と課題について

6 市役所本庁舎の今後について

昭和51年に建設された市役所本庁舎の老朽化は進んでいる状況である。

支所・出張所の機能強化を図っていく上で、市庁舎の今後の在り方について伺う。

- (1) 災害時における防災拠点機能としての観点について
- (2) 今後について

TO BE

質問者 9番 稲葉 健

1 藤代市政1年目の成果と今後の市政運営について

(1) 市政運営の基本姿勢について

①藤代市長は、昨年（令和6年7月）の就任以来、「未来を一緒に創る」を掲げ様々な施策に取り組まれました。まずは、市政運営をどのように総括されているのか、市長自身の所感とともに、特に成果があったと考えている施策について令和7年7月31日に公開されたロードマップを元に具体的に伺う。

(2) 市役所の現状と改革について

①藤代市長が就任されてから1年が経過したが、職員の皆さんの働き方やモチベーションに、どのような変化があったと感じているか伺う。

②副市長2人制について

副市長2人制が初めて導入され、組織の経営力の強化や政策推進体制の充実が図られている。導入前には説明があったが、現在の副市長2人制に関して、副市長の具体的な役割分担と、それぞれの担当分野における現状の課題認識、今後の具体的な取り組みについて伺う。副市長それぞれの専門性や経験が、市政運営にどのように活かされているか伺う。

③政策アドバイザーの導入について

政策アドバイザー制度を導入した目的と、目標効果について伺う。

④「職員採用強化」について

「職員採用強化」に向けて、職員採用専用サイトの立ち上げ、採用ピッ

チ資料の作成、市長及び新規採用職員の動画計画など、様々な取り組みが行われている。しかしながら、十分な成果が上げられていない状況を踏まえ、今後の職員採用活動に関して、どのような点を改善し、優秀な人材を確保していくのか伺う。

⑤DX・業務改革について

現状について伺う。

(3) 教育・福祉分野における重点施策の進捗と評価について

①学校給食費の無償化、医療的ケア児への支援体制の強化、インクルーシブ教育の推進など、教育・福祉分野においても重要な取り組みが進められている。これらの当面の進捗状況と、市民の皆様からの要望、課題や今後の展望について考えを伺う。

②市長は「日本で最も進んだテクノロジー教育の提供」を公約に重視している。令和7年7月31日に公開されたロードマップによると、市内中学校への教材整備や情報教育の推進、GIGAスクール構想第2期に児童生徒用タブレットPCの整備が計画されている。これらの取り組みについて伺う。

③図書館運営について

ア ロードマップではICT等を活用した図書館機能の強化及び業務の効率化を考えているとのことだが、現在の図書館運営における課題と、ICT活用による具体的な改善策について伺う。

イ 図書館運営について、地域住民との連携強化、新たなサービス展開など、どのような組織を考えて、具体的なビジョンについて伺う。

(4) 交通・防災・地域振興に関する将来の実効性について

デマンド型交通の導入やライドシェアの検討、防災体制の強化、さらには地域経済の振興に向けた取り組みなど、生活基盤の充実と地域経済の活性化に向けた施策が展開されている。

下記について、特に効果が現れている施策と今後の課題を、それぞれ伺う。

①交通施策について

②防災施策について

③地域経済振興について

(5) 財政運営と持続可能なまちづくりの方向性について

本市の財政状況については、市税収入の増加や地方債の活用など、一定の成果が見られる一方で、今後の大規模事業等に備え、計画的に財政の健全化を図る必要がある。

市長として、今後の財政運営における基本的な方針と持続可能なまちづくりに向けた財源確保の考え方について伺う。

- 2 市制施行30周年記念事業について
 - (1) 市制施行30周年記念事業基本方針について
 - ① 策定期間について
 - ② 策定内容について
 - (2) 市制施行30周年記念事業記念イベントについて
 - ① 現在の検討状況について
 - ② 検討中の主なイベントについて
 - (3) 市制施行30周年記念事業記念イベントにおけるレガシー事業について
 - ① 現時点における想定事業について
 - ② 想定事業の実施年数について
 - (4) 市制施行30周年記念事業記念イベントの総括について